

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位 2

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：大久保美由紀 須知 結太郎

使用教科書：「論理国語」（数研出版）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
論証したり、学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」について文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。	学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			語 句	書	読					
1 学 期	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・筆者の言う「弱い絆」をつくるにはどうしたらよいか、自分の考えをまとめる。	弱いつながり		○	○	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の内容から読み取れる筆者の意図について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	8
	筆者の逆説的言説を理解したうえで、異なる事例を考え、論理的に説明する。	逆説/胆力について		○	○	○	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	・現代日本社会における「中間社会」の現状と課題を読み取る。 ・哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解する。	具体と抽象/「内的成長」社会へ			○	○	○	○	○	8
	・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・外国の言葉や表現を選び、それが表す概念とともに紹介する。	言葉と創造/国境を越える言葉			○	○	○	○	○	7
定期考査						○	○		1	

